

神さまが「みんなのことが大好きだ」ということを、語っています。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒（10のことば）を教えてくださいました。

それだけではありません。みんなは、月曜日から金曜日まで学校に行き、そして毎日勉強します。そうすることによって、だんだんと分かってきます。テストがあると、「イヤだな」と思うでしょうが、でも、分かるようになって、楽しくなってきます。勉強じゃなくても、絵を描くこと、スポーツすることでも同じではないでしょうか。初めから何でも出来る人も、たまにはいるでしょうが、たいていの人は、初めはできません。繰り返し練習し、勉強することによって、だんだんと理解でき、できるようになってきます。

教会に来ることも、同じです。毎週、日曜日、カレンダーでは一週間の一番最初の日、神さまのことを覚えて、教会に来るように、そして神さまの御言葉である聖書から学ぶように、神さまは語られます。

でも、教会は、神さまのことを勉強するだけではありません。礼拝の中で、聖餐式が行われる時があります。みんなは、まだ信仰告白をしていませんから与れませんが、礼拝の中で、みんなと一緒にパンを食べ、ぶどうジュースと一緒に飲むことがあります。イエスさまが、私たちを救うために十字架にお架かり下さいましたが、イエスさまの十字架での傷ついた体、流された血を覚えながら、私たちも救われていることを、繰り返し確認します。

また神さまは、私たちが礼拝に出席することにより、いつも神さまがみんなと一緒にいて下さることをお教え下さいます。神さまと一緒にいるとどうなるのでしょうか？ いつでも神さまと会話することができます。お祈りですね。苦しい時「助けて下さい」と祈れます。楽しい時「ありがとうございます」と祈れます。嫌なことがある時「何とかして下さい。解決してください」と祈れます。教会に来ることにより、より神さまが近くにいることが分かりますが、家に帰った時も、学校にいる時も、いつでも神さまは、みんなと一緒にいて下さいます。だから、いつでも、どこでも私たちは神さまにお祈りすることが出来ます。

「れいはいの大切さ」とタイトルが付けられていますが、教会に来て、礼拝に出席することによって、神さまは、聖書の御言葉、聖餐式のパンとぶどう、そしてお祈りによって、神さまと一緒にいて下さり、神さまが私たちを救って下さったことを、お示し下さいます。

お祈りしましょう。

神さま、神さまが私たちを愛して下さい、礼拝に招いて下さるからこそ、私たちは神さまと出会い、神さまが私たちを守って下さること、恵みをお与え下さることが分かります。どうか、これからも、毎週、礼拝に出て、神さまと出会うことが出来るようにして下さい。このお祈り、イエスさまのお名前によって、お祈りします。 アーメン

神さまが「みんなのことが大好きだ」ということを、語っています。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒（10のことば）を教えて下さいました。そして、神さまはみんなが神さまを忘れないように、毎週教会・礼拝へと招いて下さることを学び始めています。

先週は、礼拝において3つの大切なことがあることをお伝えしました。

第一に、聖書を読み・説教を聞くことです。

第二に、神さまを信じると告白して洗礼を受けることです。

第三に、祈ることです。

今日は、最初の聖書を読むこと・説教を聞くことの大切さ、考えて行きたいと思います。子ども説教では、今まで聖書を読むことはしないで、メッセージだけを語ってきました。しかし説教・メッセージは、いつでも聖書から語られます。聖書を分かりやすく語るのが説教です。ですから、みんなは、いつも、子ども説教を聞くことによって、聖書の御言葉を聞いてきました。そして今日も同じです。

そのため、礼拝出席すること、説教を聞くことと同じように大切なことが、聖書を読むことです。「全部読めない」、「難しい」と思われるかも知れません。しかし、毎日、少しずつで良いですので、聖書を読んでいくと、段々と聖書が分かってきます。面白くなってきました。旧約聖書ならば創世記とか、詩編とか。新約聖書であれば福音書だとかを読み終えると、出来たと感動することが出来るかと思えます。

また、聖書を読むだけだと分からないという人は、リジョイスのいのちのパンを読んで欲しいと思います。毎日、毎日、聖書とメッセージが記されています。すぐに読むことが出来ます。

聖書を毎日読み続けると、聖書が語っていることが理解できるようになります。神さまが、みんなを愛しておられる、大好きなこと、神さまを信じれば、神さまが喜んで下さり、救いへと導かれることがはっきりと示されます。

お祈りしましょう

主なる神さま、神さまは、私たちが神さまを信じて、神さまの恵みを知ることが出来るようにするために、私たちが教会に集めて下さり、聖書により、神の御言葉をお語り下さり、ありがとうございます。どうか、私たちが、毎日少しずつでも聖書を読み、神さまが私たちが大好きなことを知り、私たちも神さまのことが大好きになることが出来るようにしてください。このお祈り、イエスさまのお名前によって、おささげします。 アーメン

神さまが「みんなのことが大好きだ」ということを、語っています。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒（10のことば）を教えて下さいました。そして、神さまはみんなが神さまを忘れないように、毎週教会・礼拝へと招いて下さることを学び始めています。

礼拝において3つの大切なことがあることをお語りしています。

第一に、聖書を読み・説教を聞くことです。

第二に、神さまを信じると告白して洗礼を受けることです。

第三に、祈ることです。

今日は、その2番目の礼典について考えようと思います。

「礼典」の中に、「洗礼」と「聖餐式」があります。聖餐式は、毎月一度、パンとぶどうジュースがありますので、見たことがあるかと思います。

しかし、タイトルにも「洗礼ってなに？」と記しましたが、「せんれい」という言葉を聞いたことがない人も多いかと思います。通常は、神さまを信じますと信仰を告白した人たちがクリスチャンとなることです。心の中で思うだけではなく、教会で、みんなの前で、主なる神さまを信じます。イエスさまによる十字架の救いを信じますと告白することにより、クリスチャンになることができます。この告白式のことを「洗礼」と語ります。洗礼を授かることによって、あなたも神さまの子どもですよ。救われて、天国に入ることができますよ、と神さまが認めて下さいます。

教会に来て多くの人が、洗礼を受けています。聖餐式の時に、パンを食べ、ぶどうジュースを飲んでいる人は、皆、洗礼を受けています。

今日はお休みですが、ももちゃんと光君のママが、そのための準備をしています。4月には洗礼式を行おうと思っていますので、見て頂きたいと思います。

そしてもう一つ伝えなければならないのは、来週お話ししますが、クリスチャンになり、洗礼を受けた人たちの子どもたちも、洗礼を授かっています。みんなも、赤ちゃんの時に、洗礼を受けています。だから、みんなも、神さまの子どもですよ、天国に行くことができますよと、神さまはお語り下さいます。

お祈りしましょう。

主なる神さま、神さまが、洗礼を授かった人たちをみんな、救って下さり、天国へと招き入れて下さり、ありがとうございます。どうか、私たちが、喜んで神さまを信じて、天国へと向かうことが出来るように、お守り下さい。

このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。 アーメン

神さまが「みんなのことが大好きだ」ということを、語っています。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒（10のことば）を教えて下さいました。そして、神さまはみんなが神さまを忘れないように、毎週教会・礼拝へと招いて下さることを学び始めています。

礼拝において3つの大切なことがあることをお語りしています。

第一に、聖書を読み・説教を聞くことです。

第二に、神さまを信じると告白して洗礼を受けることです。

第三に、祈ることです。

今日は、その2番目の礼典について考えようと思います。

「礼典」の中に、「洗礼」と「聖餐式」があります。先週は「洗礼」について考えました。神さまを信じた人が、教会で信仰を告白する時に行います。洗礼を受けたら、神さまの子ども、神さまの家族となります。だから、教会に来ている人たちは神さまの家族です。

そしてこの時、洗礼を受ける人の子どもたちも、洗礼を受けて、神さまの家族となることが出来ます。

神さまは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます」、「神さまの家族となれますよ」とお語り下さいます。

今、ももこちゃんママが、信仰告白をして、洗礼を受ける準備をしていますが、この時に一緒に、ももこちゃんも、ひかるくんも、幼児洗礼を受ける予定です。

今日、出席しているお友だちは、みんな、お父さんか、お母さんが信仰告白して洗礼を受け、そしてみんなも幼児洗礼を受けています。だから、みんなも神さまの家族となっています。

そして、メッセージの題を「契約の子ども」としましたが、神さまは信仰を告白した人たちと、救いの契約（約束）を結んで下さいます。「罪が赦され、天国へ行くことが出来ますよ」という約束です。そして子どもたちには「契約の子ども」だと語り、同じ契約、同じ約束が与えられていますよ、とお語り下さいます。だからこそ、みんなは、まだ、自分の口で信仰を告白していませんが、救われ天国へ行くことを、神さまは約束して下さい、神さまの家族として下さっています。

お祈りしましょう。

神さま、神さまを信じるクリスチャンだけではなく、その子どもである私たちも神さまの家族にいらしてください、ありがとうございます。私たちも、神さまを信じて、信仰を告白するように、お導き下さい。

このお祈り、主イエス・キリストの御名により、お祈りします。 アーメン

明日になれば、新しい年度を迎え、みんなも一つ学年が上がります。卒業・卒園して、新しい学校に入る人たちもいます。新しい学校・新しいクラスに不安に思っている人はいませんか？

みんなが成長していても、神さまの愛は、まったく変わりません。神さまはみんなを愛していて下さいます。

神さまがみんなのことが大好きだから、神さまから離れないために、十戒(10のことば)を教えて下さいました。そして、神さまはみんなが神さまを忘れないように、毎週教会・礼拝へと招いて下さることを学んでいます。

礼拝において3つの大切なことがあることをお語りしています。

第一に、聖書を読み・説教を聞くことです。

第二に、神さまを信じると告白して洗礼を受けることです。

第三に、祈ることです。

先生が先週、お休みを頂いていましたので、一週間抜けましたが、続きを行います。教会をサボったのではなく、「石巻」という所で、礼拝に出席していました。

さて、神さまを信じれば、信仰を告白して洗礼を受けることが大切ですよということを学んでいます。でも、私たちはだんだんと馴れてきます。初めは嬉しいのですが、段々と喜びが小さくなります。感動しなくなります。救いの喜びを忘れてしまいます。

だからこそ、神さまは、洗礼を受けた人が、神さまの子どもですよ、天国に行くことが出来ますよ、ということ、を、繰り返し確認するために、聖餐式を準備して下さいました。毎月最初の日曜日、来週あります。パンを食べ、ぶどうジュースを飲みます。イエスさまの十字架での裂かれた体、流された血を思い浮かべます。それと同時に、一緒に食事している人が、全国・世界中にいることを確認して、天国で、そのみんなと一緒に食事を取る時が来ることを思い浮かべながら、聖餐式に与ります。

みんなも、神さまを信じて、信仰を告白したら、聖餐に与ることが出来るようになります。これから、みんなも、信仰を告白して、一緒に聖餐に与れる日が来ることを、楽しみにしています。

お祈りします。

神さま、私たちは弱いです。だから、神さまを信じて、忘れてしまいます。そのために神さまは、説教と共に、聖餐式を準備して下さいありがとうございます。私たちも、これから信仰を告白して、聖餐に与る日がきますように、お守り下さい。

イエスさまのお名前によって、お祈りします。 アーメン

先週、イースターで、イエスさまの十字架の死と死からの甦りを覚えました。そのため、教会学校のメッセージも、イエスさまの十字架から学んでいました。しかし、今日から、前の学びに戻ります。

神さまがみんなのことが大好きだ、愛していることを語ってきております。だからこそ、神さまは、みんなが神さまとの交わりを持つことにより、神さまを理解して欲しいと願っております。そのために、神さまは、3つのものを準備して下さっています。

- ①御言葉 聖書と説教
- ②聖礼典 洗礼と主の晩餐
- ③祈り

今日から3番目の祈りについての学びを行うこととします。

みんなは、毎日お祈りをしているでしょうか？

朝起きた時、ご飯を食べる時、寝る時、聖書を読む時、
一人、家族

お祈りは、家族やお友だちの会話とは違います。会話であれば、誰かが答えてくれます。しかし、祈りは神さまが声を出して答えて下さることはありません。

では、祈りは、独り言のように、自分の思いを語っていれば良いのでしょうか？

→ 私たちがお祈りするのは、主なる神さまが、今、ここに一緒にいて下さるからこそ、成立します。祈りとは、神さまとの会話です。神さまは、私たちの祈りを、声を出して答えて下さることはありません。しかし、神さまは私たちの祈りを、すべて聞いて下さっています。答えて下さいます。

神さまはいろんな手段によって、答えて下さいます。祈りを聞いて下さることによって、この祈りは「わがままですよ。ダメですよ」と答えられることもあります。「今はちょっと待って。後から答えて上げる」という形で、聞いて下さることもあります。

私たちは、お祈りをすることによって、神さまが私たちと一緒にいて下さることを、強く感じる事ができます。毎日、少しでも聖書を読んで、祈るようにして、神さまと一緒にいて下さることを、感じて頂きたいと願っています。

お祈りします。

神さま、私たちはすぐに神さまを忘れてしまいます。しかし、神さまはいつも、私たちを覚えていてくださいます。だからこそ、私たちの祈りを、いつも聞いて下さいます。だからこそ、私たちも、毎日、聖書を読んで、神さまにお祈りすることが出来るようにしてください。このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

神さまはみんなのことが大好きです。だから、十戒（10の約束）によって、様々な悪いことから守って下さいます。そして、神さまのことを忘れることなく、神さまがいつも一緒にいて下さることを覚えるために、神さまは3つのものを準備して下さいました。

- ①聖書と聖書のメッセージとしての説教
- ②洗礼と聖餐式の礼典
- ③祈り

そして先週から、3番目の祈りについて学んでいます。イエスさまは、弟子たちが「どのように祈れば良いのか教えて下さい」と質問した時に、主の祈りをお教え下さいました。私たちが礼拝の最初で、毎週、主の祈りを祈っています。みんなも、そらで言えるように覚えて頂きたいと思います。しかし、主の祈りに何が語られているのか、知らなければ、祈ることはできません。

そのため、私たちは、これから、主の祈りについて、順番に学んでいこうと思っています。最初に、呼びかけですが、「天にまします我らの父よ」と祈り始めます。

「天にまします」と言えば、分かったような分からないような言葉ですが、昔の日本語ですね。ですから、今の言葉にすれば「天におられます」となります。

天には、誰がおられるのか？ 主の祈りは「我らの父よ」と語ります。「私たちのお父さん」です。神さまは、私たちに対して、「お父ちゃん」と親しみを込めて、呼びかける事をお許し下さっています。

そして、お父ちゃんである父なる神さまこそが、すべての決定をすることができる唯一のお方です。「こんなことを言ってもダメだ」と思っていることでも、私たちにとって本当に必要なことであれば、神さまは祈りに応えてくださいます。最初っから「ダメだ」と思うからダメなのであって、神さまに不可能なことはありません。本当に、私たちが願い、私たちの思いを神さまに伝え、神さまに委ねる時、神さまは私たちの祈りを聞いてくださいます。

だからこそ、最初の呼びかけは、私たちの祈りを聞いて下さる父なる神さまに呼びかけるのです。

具体的にどのような内容を祈れば良いのか、来週から一緒に学んで行きたいと思っています。

お祈りします。

父なる神さま、神さまが私たちのすべてのことを知っておられ、私たちの苦しみも、求めているものも、すべてしっておられることに感謝します。そして、私たちが祈りにおいて、助けを求めると、すべてを適えて下さることに感謝します。どうか、私たちが、神さまを信じて、神さまに祈ることが出来るようにして下さい。

このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。 アーメン。

私たちが愛し、大好きな主なる神さまは、私たちが神さまを信じて生きるために、10の約束をお与え下さいました。そして、神さまの恵みを知るために、①御言葉（聖書）、②礼典（洗礼・主の晩餐）、③祈りをお与え下さいました。

今は、最後の祈りについて学んでいます。イエスさまは、どのように祈ればよいのか分からない弟子たちに対して、祈りをお教え下さいました。それが主の祈りです。今日も、礼拝の最初に、みんなでお祈りしました。先週は呼びかけを学びました。「天の神さま」、「お父ちゃん」と呼びかけることが許されているのですよ、優しく迎えて下さることを、学びました。

そして、今日から、どのような祈りがあるのかについて学びます。全部で6つあります。十戒の学びにおいても、神さまについてのお約束と、私たちの生活に伴うお約束とに別れていましたが、祈りも同じです。私たちのお願いばかり祈るのではありません。お願いしてはダメなのではありません。それも神さまは喜んで受け入れてくださいます。しかし、それだけではないのですね。

「天にまします我らの父よ」

「願わくは御名を崇めさせたまえ」と祈ります。

「願わくは」、「できれば」ですね。

できれば「何か？」。

「御名を崇める」、難しいですね。「御名」とは、神さまの名前です。

神さまのお名前とは、どのような名前を知っていますか？

イエスさま、キリスト、父なる神さま、聖霊なる神さまもそうです。

父、御子イエス・キリスト、聖霊、三位一体なる神さまです。

神さまの名前を崇めるとか、敬うとは難しい言葉ですが、大切にすることです。祈っても答えてくださらないからと言って、「神さまのバカ」なんて言うのはダメですね。神さまは、祈りを、みんなのお願い通りに聞いて下さらない時もありますがそのような時にも、神さまはみんなにとって最も良い結果をお与え下さいます。時には苦しい時もあります。時に悲しい時もあります。それでも、神さまは一番よい結果をお与え下さいます。後からわかるのです。神さまを大切にすることは、神さまがお与え下さったことを受け入れ、神さまに委ねる、お任せすることです。

お祈りします。

天の神さま、私たちは、祈りが聞かれない時、「なぜ」と思います。神さまの本当の思いが分からない時もあります。しかし、神さまは、私たちに一番良い者をお与え下さるお方であることを信じます。だからこそ、いつでも、神さまと一緒にいることを、喜び、神さまを大切にすることができるようして下さい。

イエスさまのお名前によって、お祈りします。 アーメン。

私たちが愛し、大好きな主なる神さまは、私たちが神さまを信じて生きるために、10の約束をお与え下さいました。そして、神さまの恵みを知るために、①御言葉（聖書）、②礼典（洗礼・主の晩餐）、③祈りをお与え下さいました。

今は、最後の祈りについて学んでいます。イエスさまは、どのように祈ればよいのか分からない弟子たちに対して、祈りをお教え下さいました。それが主の祈りです。今日も、礼拝の最初に、みんなでお祈りしました。

神さまは、私たちに6つの祈りを教えて下さいました。先週はその最初「願わくは御名を崇めさせたまえ」でした。神さまが一番良いものをお与え下さるからこそ、神さまを信じよう、救いに喜んで生きようということでした。

そして今日、2番目の祈り「御国を来たせたまえ」です。「御国」とは「天国」のことです。「来たせ給え」とは、「早く来て下さい」ということです。私たちが神さまを信じ、毎週教会に来ること、つまり私たちの目標は、イエスさまが死から甦って、天国に行かれたように、私たちも天国に行くことです。

天国での永遠の生命、喜びに満ちて神さまを礼拝し、讚美し続けるのです。天国では、死ぬこともなく、苦しむことも、悲しむこともありません。神さまを信じるとは、まさにイエスさまによって天国が与えられるからです。

イエスさまは、私たちが救うために、十字架にお架かり下さり、死を遂げられました。この死は、私たちがさけてとおることが出来ない死です。そしてイエスさまは特に「よみ」に下られました。私たちが負うべき罪の裁きです。イエスさまが陰府に下られたことにより、イエスさまを信じる者は、もう陰府に下ることもなく、罪の裁きの苦しむこともありません。イエスさまが、死から三日目の朝に甦って下さったように、イエスさまが迎えに来て下さる時、私たちも、そしてもう死んで墓で眠っている人たちも甦り、天国へと向かうことが出来るのです。

「御国を来たせたまえ」とは、まさにイエスさまが私たちが迎えに来られ、天国に行く時が、早く来ますように、との祈りです。

お祈りします。

天の神さま、イエスさまは私たちに天国の約束をして下さいました。だからこそ、イエスさまが私たちのところに来て下さり、私たちが天国へと導いて下さい。そしてその時まで、私たちの信仰をお守り下さい。

そして私たちが天国に入った時、救いの喜びで満たして下さい。

このお祈り、イエスさまのお名前によって、お献げます。アーメン

神さまが、私たち、そしてみんなのことが大好きであることを、毎回語っております。

そして神さまは、私たちのすべてを見守り、すべての必要を満たして下さいます。この時、私たちは神さまに感謝して、まだ必要なことがあれば、願うために、祈ることが許されています。特に神さまは、祈りの見本として、主の祈を弟子たちにお教え下さいました。

先程も、一緒に主の祈りを祈りましたが、一つひとつに意味が込められています。今日は、3つめの「御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ」です。「御心」、「心」に「御」が付いています。敬うことですが、教会では、神さまのことを表す時に、「御」を付けます。つまり「御心」とは、「神さまの心」のことです。つまり、主の祈において、「御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ」と祈るのは、神さまの思っていることが、天国で行われるように今私たちが生きている所においても、実現しますように、と祈るのです。

神さまの願いは、私たち一人ひとりが、神さまを信じて、天国に行くことですが、同時に、世界を見る時、国と国とが戦っています。戦争をしていなくても、文句を言い合っています。神さまは、そのようなことが嫌いです。だからこそ、国と国との間で、話し合いが持たれ、仲直りと平和が実現することを願っておられます。

それは、私たちの生活においても同じです。貧しい人たちに対して援助が行われ、苦しんでいる人たちが助けられるようになっていかなければなりません。こうしたことは、小さい子どもたちには分からないかも知れませんが、政治を行う人たちに委ねられています。日本の総理大臣は、安倍首相です。アメリカの大統領は、今、日本に来ていますが、トランプさんです。こうした人たちが、神さまの思い、御心を行うように、私たちは祈らなければなりません。私たちが祈らなければ、実現しません。

大人の人たちの間にも、「クリスチャンが、政治の話しをしてはならない」と思っておられる人たちもいますが、そうではありません。私たちが祈らなければ、行動しなければ、社会は変化せず、神の御心の実現することはありません。社会の問題に対して関心を持ち、祈り、行動することがクリスチャンに求められています。

私たちの祈りは、小さな行動かも知れませんが、しかし、この小さな祈りにより社会・国が変化していくこともあります。私たちは「御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ」という祈りの大切さを覚えつつ、毎回、主の祈りを祈らなければなりません。

お祈りします。

神さま、神さまは今も生きておられ、何でも行うことが出来るお方です。世界で平和を実現すること、仲直りして、助け合うことは、難しいかも知れませんが、しかし、神さまはそれを行うことができます。

だからこそ、神さま、世界において、そして私たちの生きる日本において、平和が実現して、みんなが助け合い、苦しんでいる人も、悲しんでいる人も、みんなが楽しく生きることができるようになってください。

このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

神さまが、私たち、そしてみんなのことが大好きであることを、毎回語っております。

そして神さまは、私たちが神さまを知り、信じて生きることができるように、3つの恵みをお与え下さいました。

1. 御言葉：聖書、説教
2. 聖礼典：洗礼、主の晩餐
3. 祈り 神との対話

主の祈りについて学んでいます。私たちは神さまに何を祈っても良いのです。「パパ」と呼びかけることすら、許されています。

そして、私たちは、私たち自身のことを祈ることもお許しくださっています。「日用の糧を今日も与え給え」とは、「今日も、毎日の食べ物をお与え下さい」との祈りです。

みんなも食事を食べる時に祈るかと思います。朝ご飯、昼ご飯、晩ご飯、おやつ、あるのが当たり前になっているのではないかと思います。「ご飯まだ～」と言ってしまうこともあるかと思います。

しかし、毎日食事が与えられることは、神さまの恵みです。食事があっても食べることができない人がいます。食べるもの自体がない人もいます。水を飲むために、毎日、井戸まで1時間も2時間もかけて、水を汲みに行かなければならない人たちもいます。そうした人たちのことを思い浮かべていただきたいと思います。そうすれば、今日も与えられる食事に感謝できるかと思います。「神さま、ありがとう」って言えるかと思います。食べるものがない人たちに「食べ物が届きますように」と祈ることができます。飲み水を井戸に汲みに行っている人たちに「自分の家に井戸ができますように」と祈ることができます。

だからこそ、私たちにとっては食べるものがあることが当たり前、住む家があることが当たり前、暑ければエアコンをかけることが当たり前の生活を送っていますが、この一つひとつは、神さまが私たちにお与え下さった恵みであり、地震や台風など災害が起こった時に、一瞬にすべてが奪われることもあることを、私たちは忘れてはなりません。

だからこそ、私たちは毎日「日用の糧を今日も与えたまえ」、「今日も食べるものをありがとうございます」と祈ることができるのかと思います。

お祈りしましょう

神さま、私たちに、住む家、着る服、食べるもの、飲むものを不自由することなく、お与え下さり、ありがとうございます。苦しんでいる人、困っている人たちも大勢います。神さま、そのような人たちのことも、私たちが覚えることができるように、そして神さまが彼らを助けて下さいますようにしてください。

このお祈り、イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。

神さまが、みんなのことが大好きですよ、ということ、続けて語っています。大好きだということは、いつでも一緒にいて守って下さるということでもあります。

だからこそ、神さまは、礼拝において、神さまがいつでも一緒にいて下さることをお語り下さると同時に、いつでも祈りなさいと、お語り下さっています。

祈るということは、いつでも神さまが、一緒にいて下さるということです。私たちは、神さまを目で見ることができません。そのため、本当に神さまがいるのだろうかと思ってしまう。

しかし、イエスさまが十字架の死から三日目に甦られて、そして天に昇って行かれる時、代わりに聖霊をお与え下さることを約束して下さいました。今日は、「ペンテコステ」と言って、聖霊が私たちに与えられたことを喜ぶ日です。イエス様が十字架の死から甦られたのがイースターでしたが、それから40日間、弟子たちと共におられ、イエス様は天に昇って行かれました。それから10日後、つまりイースターから50日目、7週間後が今日になります。私たちは、聖霊を覚えることによって、いつでも神さまと一緒にいて下さる、守っていて下さることを確認することができます。

そしてイエスさまは、私たちに祈りをお教え下さいました。「主の祈」です。前は、神さまがいつも私たちに食べるものも、飲むものも、必要なものをすべてお与え下さることに感謝しましょう。求めて祈りましょう、ということ学びました。

そして今日は、「罪を赦してください」です。みんなは、「自分は悪いことなどしない」、「警察に捕まるようなことは絶対にしない」と語られるかと思います。しかし、兄弟をいじめたり、ウソをついたり、意地悪をしたことはあるかと思います。あの人イヤだなと思うこともあるでしょう。神さまの前では、こうしたことも、人を殺したり、人のものを盗んだりするのと同じ罪です。だからこそ、私たちは、神さまに罪を赦してもらわなければなりません。イエスさまが十字架で死を遂げられたのは、こうした私たち一人ひとり、みんなの罪を身代わりでした。

しかしイエスさまは、死から三日目の朝に、甦られました。イエスさまを信じる人は、イエスさまと同じように甦り、天国が約束されています。

だからこそ、イエスさま、わたしの罪を赦して下さい、ありがとうございます。私達も、友だちの罪を赦すことができるようにして下さい、と祈ります。

一緒にお祈りしましょう

神さまはみんなのことが大好きです。だからこそ、十戒をお与え下さり、罪から守って下さいます。礼拝に招いて下さり、みんなとの交わりと共に、聖書のメッセージ、祈りをとおして、神さまとの交わりが与えられています。

そして私たちは、イエスさまがお教え下さった主の祈りを学んでいます。今日は、「我らを試みに遭わせず、罪より救い出し給う」と祈りです。私たちが暮らしていると、色んな嫌なことがあります。苦しいこともあります。悲しいこともあります。これらのことを「試練」といいます。

神さまが私たちのお父さんであり、私たちを救いへと招いて下さるのであれば、なんで、私たちは苦しまなければならないのだろう、神さまが、すべてを守って下されば良いのに、と思うかも知れません。

しかし、神さまを信じていても、みんな、苦しむことがあります。何一つ苦しみも悲しみもなしに生きることはできません。神さまが、私たちに試練を与え、苦しむことがあることをなさるのには、2つの理由があります。一つは、神さまを信じているからといって、何でも成功して、楽ばかりしていると、自分は立派なんだ、何でもできる、と勘違いしてしまい、本当は一番力をお与え下さっている神さまを忘れ、自分の力で何でも行ってしまうからです。だからこそ、いつでも、神さまが守って下さる、助けて下さることを信じて、神さまに委ねて、求めて祈ることを求めておられるからです。

そして神さまが私たちに苦しみをもお与えになるのに、もう一つ理由があります。それは、神さまが私たちを神の子ども、神の民として下さるために、訓練をして下さっているのです。勉強でも、時間をかけて、繰り返して行うことが求められます。スポーツでも同じです。練習しないで、上手くなろう、プロになろうと思っても、練習なしにプロになることはありません。それと同じです。神さまが私たちを神の子として天国に入るために、苦しみや悲しみをおして、私たちを訓練して下さい、神さまの子どもにふさわしい姿に導いて下さるからです。

そしてもう一つ、大切なことを忘れないで頂きたいと覆います。それは、神さまはみんなのことが大好きです。だからこそ、私たちが耐えられないような苦しみをそのままにして置かれることはありません。苦しくても、私たちが必ず乗り越える力をお与えください。だからこそ、私たちはどんなに苦しくても、神さまが守って下さる、神さまが助けて下さると信じて、祈ることができます。

神さまは、私たちが祈る時、いつでも、喜んで聞き入れて下さいます。

一緒にお祈りしましょう

神さまは、みんなのことが大好きだ、ということを語り続けています。神さまから離れないように十戒をお与え下さり、礼拝に招いて下さることにより、聖書と礼典、そして祈りをお教え下さいました。

私たちは主の祈りを学び続けてきましたが、今日はその最後になります。祈りとは、神さまを讃美し、救いに感謝すること、罪の赦しと今日の歩みを感謝すること、そして執り成し、願いを祈ることです。

先程もみんなで主の祈りを祈りましたが、最後に「国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなれ アーメン」と祈ります。難しい言葉ですね。しかし、ここでは2つのことを祈っているのだということを、覚えていただきたいと思います。

第一に、「国と力と栄え」のうちの「国」つまり「神の国」ですが、天国のことです。私たちが神さまを信じるのは、神さまが私たちを天国に導いて下さるからですよ。永遠の生命をお与え下さるからですよ。ですから、神の国である天国が、神さまの御支配の下、栄えますように、ということです。

第二に、もう祈ってきたことですが、神さまを信じる私たちも、神さまの御国、天国に入れて下さいとの願いをもって祈るのです。

神さまは、神さまを求めて、神さまを礼拝する人に対して、「あなたは悪いことをしたから、天国に入ることは出来ません」とは言われません。今まで、悪いことをしていたかもしれない、多くの人たちに迷惑をかけてきたかもしれない。でも、「あなたはイエスさまを救い主として信じるから、あなたの罪は赦されましたよ」と神さまはお語り下さいます。

だからこそ、「こんな私でも天国に入れて下さい。天国の喜びで満たして下さい」との思いで、祈り続けるのです。

そして、私たちが天国に入ることができるということは、神さまが、私たちが天国に行くまで、いつでも守って下さるということです。毎日、毎日、いろんな苦しいこと、悲しいことが起こります。「もうダメだ!」と思ってしまうこともあります。しかし、神さまは私たちが天国に行くことを約束して下さいています。だからこそ、その途中である毎日、毎日の生活をも、神さまは、守って下さいます。

だからこそ、私たちは、安心して、神さまに祈り続けることができるのです。

お祈りしましょう。

